

1. 文化

文化スポーツ課

施策
方針

市民に寄り添った文化芸術活動の振興と活性化

2029ビジョン(2029年の姿)

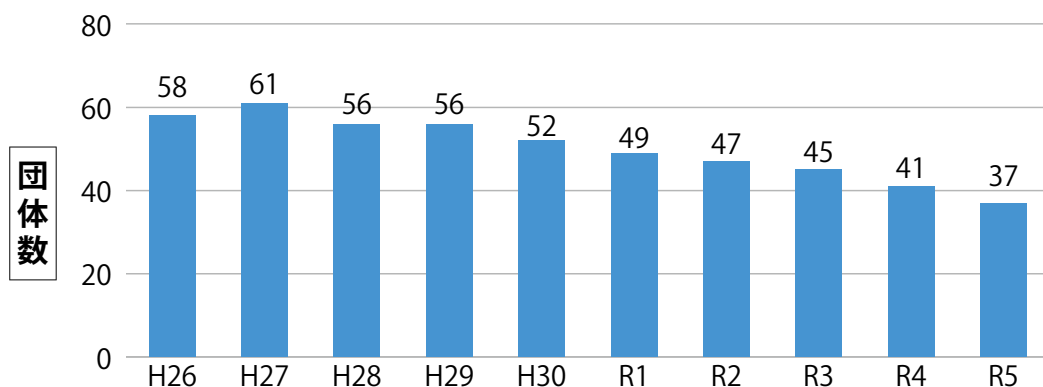
市民が文化芸術活動を身近に感じ、日常的に触れ親しんでいる。

1 現状・課題

- ◆文化芸術活動においては、特定非営利活動法人薩摩川内市文化協会をはじめとする多くの文化芸術団体が、市内の各地域でジャンルごとに多彩な活動を行っています。そのような活動の更なる普及・促進を図るため、文化的行事やイベントの開催を通して、市民一人ひとりが文化芸術に触れ、鑑賞する機会を増やし、自らも文化芸術活動を楽しむことができる環境を更に整備する必要があります。
- ◆また、地域に継承されている郷土芸能についても、発表する機会の提供や保存継承活動に対する支援を継続する必要があります。
- ◆川内歴史資料館、川内まごころ文学館などの施設については、有島三兄弟を始めとした郷土出身の著名人や、ふるさとの歴史を学ぶ拠点施設として位置付け、積極的な利活用を促進する必要があります。

【郷土芸能活動団体の推移】

(単位：団体)



(資料：文化スポーツ課)

2 施策の方向性

- ◆文化活動を発表する機会を提供し、併せて多くの市民が活動に触れ、取り組むことができる機会を増やせるよう、特定非営利活動法人薩摩川内市文化協会をはじめとする文化芸術団体が実施している様々な取組を支援します。
- ◆地域に受け継がれた伝統芸能を継承する郷土芸能保存団体については、各団体の活動状況等の把握に努め、活動や後継者の育成を支援します。
- ◆市の文化芸術について学ぶ機会を増やせるよう企画展や講座等を開催し、川内歴史資料館等の文化施設の利用を促進します。



はんやジュニア大会



郷土芸能入来神舞

3 成果指標と目標値

成果指標	現状値	現状値の 年度・年	目標値	目標値の 年度・年
文化協会加盟団体数	125 団体	R5 年度	140 団体	R11 年度
郷土芸能保存活動団体数	37 団体	R5 年度	47 団体	R11 年度
文化振興イベント参加者数	3,300 人	R5 年度	4,600 人	R11 年度

4 SDGsの目標

4. 質の高い教育をみんなに

